

令和4年度 第3回川崎市社会教育委員会多摩市民館専門部会摘録

- ・日 時 令和4年12月16日(金) 午前10時～12時
- ・場 所 多摩区役所 第1001会議室
- ・出席委員 小澤(洋)委員、小澤(章)委員、米山委員、齊藤委員、吉田委員(部会長)、三品委員
- ・欠席委員 高梨委員(副部会長)、小園委員
- ・事務局 柏原館長、麻賀課長補佐、篠原係長、
- ・傍聴者 なし

1 開 会 (麻賀課長補佐)

2 部会長あいさつ (吉田部会長)

3 館長あいさつ (柏原館長)

4 令和4年度第2回会議録について(麻賀課長補佐)

※資料1 特に質疑なし。承認。

5 報告事項

(1) 令和4年度施設の維持管理運営について

○麻賀課長補佐より資料2等に基づき説明

(小澤委員)

3月にたま学びのフェアがあり、トイレ工事が早くなると聞いて安心とした。

(2) 令和4年度多摩市民館社会教育振興事業について

○篠原係長より資料3等に基づき説明

(吉田部会長)

コロナ禍でも少しずつ事業が進んでホッとしている。

6 議 題

(1) 今期のテーマについて

○篠原係長より資料4-1等に基づき説明

(吉田部会長)

社協の地区割の話があったが登戸でもいこいの家を利用することが多い。65歳以上だが世代間交流の年一回やっている。ほかの地区はどうか。

(事務局：篠原係長)

最近社協では世代間交流の子育て広場のようなものを始めたと聞いている。提案の方向で良ければ社

協とも今まで以上に連携し、市民館が外に出ていきたいと思う。

(吉田部会長)

社協もコロナで会食会も中止になっている。居場所として来る方は多い。登戸のミニディには8人来ているが、これからも大いに活用してほしいと思う。

(事務局：篠原係長)

高齢者関係では市民館には高齢者セミナーやシニアの社会参加活動のほかにも、高齢者が参加できる講座を毎年実施している。

(小澤(章)委員)

私の近隣方には交通の便で市民館へ来るのを躊躇している人がいる。またコロナで高齢の方は外にあまり出ていない。

(米山委員)

老人会では町内会館を使って定例会はやっている。栗谷地域では宮前区鷺ヶ峰の施設に行く人が多い。コロナ前は民生委員で高齢者がだれでも来ておしゃべりができるカフェをやっていた。やりたい気持ちはあるが今は難しい。

(三品委員)

散歩に多摩川に行くと高齢者が意外というが、歩いている時にサイクリング自転車が飛び出してきた危険を感じることがある。時間を分けて歩行者専用にするの良いのではないかと。

(小澤(章)委員)

朝6時ごろから散歩している高齢者が多く、通勤のために自転車で走っている人も多く見られる。

(事務局：柏原館長)

多摩川サイクリング道路の整備やマナーについては危機管理担当等に伝えていく。大人への啓発は難しいので子どもの時からの啓発が大切だと思う。

(小澤(洋)委員)

どの学校でも自転車教育に取り組んでいるが、学校の地域性によって違ってくる。利用率が高いところはマナーをしっかりとやっている。

(事務局：篠原係長)

大人がルールを知らない、学べていないのも社会教育の課題ではないかと思う。どのようにすれば学べて行けるのか、社会の課題に対して解決策を考えなければと思う。

(小澤(章)委員)

長尾小学校では子どもたちの交通ルールの勉強会に地域の方が募って参加したと聞いた。学校にも協力してもらえればと思う。

(事務局：柏原館長)

社会の変化にも対応して効果が出るまで継続していくのも生涯学習ではないかと思う。また学んだ方が身近な方に伝え、つながっていく効果で学びが続くことになると思う。危険というのは身近なテーマだと思う。

(米山委員)

子育て支援は社協でも地域の会館で民生委員がやっている。出張所でなくても地域の会館で空いてい

るところがあれば出張しても良いのではないかと。

(事務局：篠原係長)

子どものいる方はそんなに遠くまで出られない。近場で友だちが出来ていくほうがいい。

(吉田部会長)

友だち作りも今はメールのやり取り、初めて会ってすぐにメールのやり取りが始まる。それによって子育ての情報が共有出来て良いのではないかと思う。

(齊藤委員)

市民館は社協の子育て支援について把握しているのか。市民館の方から情報提供など働きかけるのは難しいか。

(事務局：柏原館長)

情報としてチラシを見たり、社協と一緒に事業もあるので子育て情報の共有はしているが、社協そのものの事業に働きかけるのは難しい。

(吉田部会長)

5地区社協でそれぞれイベントも違って来るが、ただ子育てまつりについては各地区社協、民生委員が協力してやっている。

(齊藤委員)

いろいろな団体がいろいろな活動をしていて、活動していることが市民館の事業として活かさないのか、ということだと思う。新たに作るのではなく、今あるものを市民館事業として使うことを考えるともう少し簡単ではないか。地域教育会議は中学校区ごとに活動しているので市民館が事業を行う時に各地域教育会議に投げかけて、同じ講座を廻していくことも考えられる。子ども会もつながることが出来れば子育て講座も子ども会を通じて廻すことも可能ではないか。市民館事業となれば公の場所の確保や市民館事業としての予算が割り振られという形で繋がりを強くしていければ、今ある既存の団体をより活かすことができ、どこの団体も会員数が減っているというのもあるので、お互いに補完し合う出来るのではないかと思う。

(事務局：篠原係長)

市民館は各地区で行われている全ての活動を把握できてはいない。今回提案させていただいたテーマで研究を一緒にさせていただくのであれば、これからどのように展開したらいいかということを報告書に記していただき、それを基により良い地域展開をしていく方向性をこの期の研究として進めていくことを想定している。

5地区を一気にやるのは難しいところがあるので資料4-5で説明させていただきたい。それぞれの地域情報をざっくりとまとめてある。どこかモデル地区を決めて、そこについてどのような展開ができるのかを研究し、それを他の地区にどのようにアプローチできるのか考えていくという進め方が宜しいかなと思っている。地区を選ぶに当たって資料4を付けている。

※資料に基づき各地区の説明

(齊藤委員)

地域としてこじんまりしていて良いかなと思うのは中野島、いこいの家が駅から近く、中野島小学校

も地域に開かれている印象がある。地元の協力を得るに当たって町内会などの方々の顔ぶれが見えやすく協力が得やすいエリアではないかと思う。

(事務局：篠原係長)

市民館の事業として手間と予算をかけてやるからには、効果も大事になってくることを考えると多くの方が参加していただけるか、波及効果があるところがモデルとしていいのかと思うが、研究していく中でそうではなかったというのもある。中野島地区は既に地域でいろいろな活動していると聞いているので新たにというよりは連携しながらより効果を高める、市民館と一緒にいったあと地域の方自身が市民館とやらなくても以前より地域のための活動になっていく方向性もあると思っている。

(齊藤委員)

市民館として地域に持って出たい事業があれば教えてくれれば、考えやすい。できればこれで行ってみたいというのがあれば変わってくる。

(三品委員)

稲田地区には稲田中学、多摩高校、緑化センターとかあるが、何らかの形で社会教育をしているということでは挙げられているのか。

(事務局：篠原係長)

場所であるところと講座みたいなものを行っているところが混在している。いわゆる社会資源として示している。緑化センターは緑や盆栽などの講座をやっている。小中学校については教室を地域開放している。

(三品委員)

調査研究を進めていくと多摩区にとって必要性が高い社会教育を実施すべき分野・テーマが出てくる可能性があるということですね。

(事務局：篠原係長)

どのようなテーマでということですが、事務局でも想定はしているが、それこそ地域が何を求めているのかを掘り起こすこともあるのかと思っている。いままでも色々な分野で社会教育振興事業を実施しているので、どの分野でも良いのではないかと思う。既にその地域で行われていることを市民館がお手伝いしながらより広げていくとか、その地域で全く取り組まれていない必要なことやるとかあると思う。

市民館の情報では中野島地区ではNPO法人「かわさき創造プロジェクト」がかなりしっかりと地域の方と一緒に色々な活動をされていると聞いている。

(三品委員)

県内などで先進的に取り組んでいる例があればデータ資料ベースでいいので提示してほしい。

(小澤(章)委員)

生田地区は高齢者も多く、出会いたい、人との繋がりたい、学びたいという方の声を拾っていくと、お子さん、お孫さんまでつながっていくと思う。生田は広く著名な方も多くいるのでそういう方を依頼して広げていったらどうか。生田出張所もあり、生田小学校ともつながっているから良いのではないかな。

(齊藤委員)

ターゲットは高齢者メインか、子どもメインか、それとも合わせ技か、一気ににはできないので生田地区は高齢化率も高く、小学校も近く昔遊びなどもできたら良いと思う。昔遊びなどはやっている団体もあるかもしれないので調べて連携できればと思う。市民館として地域に持って出たい事業があれば教えてくれば、考えやすい。できればこれで行ってみたいというのがあれば変わってくる。

(吉田部会長)

昔あそびは登戸でも地元の町会が小学校3年生を対象につないでいっている。

(齊藤委員)

市民館が動きやすいところが良いのではないかと。いこいの家があるから、出張所があるからということとで足がかりがあるところで良いのではないかと。

(三品委員)

大きいところよりもこじんまりしたところの方がやりやすいのではないかと。連携ということなら構造が複雑な所ではなく、単純な所でどうできるかを見ていった方がいいのではないかと。

(事務局：篠原係長)

事業を運営する側から考えると場所が分かり易いところがいい。

(齊藤委員)

そういう意味からも出張所はいいのではないかと。

(事務局：篠原係長)

やり易さは展開易さということではなく、講座の効果を発揮するためにはやる場所が落ち着いていたり、人が集まり易くないと効果が見えないかなと思う。

(齊藤委員)

モデルケースとしてやってみて終わりではなく、それを広げていくということは次年度、次々年度のことになると思うので、まずはやり易いと生田地区で良いのではないかと。

(事務局：篠原係長)

やっていく中で見えてくるものもあるので、それを修正していくということもあると思う。

(吉田部会長)

それでは生田地区からやっていきましょう。頂いた意見を事務局にまとめてもらい、皆さんで討議をすすめていきたいと思えます。

(事務局：篠原係長)

場合によっては個別にご意見をいただく場面もあるかもしれません。

(吉田部会長)

内容については事務局で案を検討していただけますか。

(事務局：柏原館長)

市民館の方で検討させていただき、途中でもご意見をいただきながら、決めていきたいと思う。

(三品委員)

市民館図書館の管理運営の考え方に対するパブリックコメントですが、500件以上意見があり関心が高いということだが指定管理者に対する認識が広がっていない。実務レベルの効率化が指定管理導入

の理由だが説明が足りないと思う。

(事務局：柏原館長)

パブリックコメントや関係団体からの聞き取りでの意見は、市の方で受け止めて検討に活かしていく。否定的な意見や理解が足りていないことも教育委員か事務局では認識していると聞いているので、この先の指定管理に向けてのスケジュールの中で説明会とか、理解を深めていくことを考えていかなければと受け止めている。

(吉田部会長)

一般の市民はどの施設が指定管理者になっているか全然知らない。役所の施設は全て役所のものだと思っている。いこいの家も指定管理だがそんな状況だと思う。

7 その他

第4回・・・ 2月26日(日) 多摩区役所11階 1104会議室
13時15分～ 企画提案会 15時30分～専門部会
※企画提案会について篠原係長から説明

8 閉 会